

令和5年度

矢作古川

要望書



矢作古川(水系)改修促進期成同盟会

目 次

1 矢作古川(水系)改修促進に関する要望書	1ページ
2 重点要望事項	4ページ
3 矢作古川(水系)要望図	5ページ
4 矢作古川(水系)改修促進要望箇所図	6ページ
5 河川改修の効果 経済的被害の軽減	8ページ
6 河川改修の効果 浸水リスク低減による進出企業の増加	9ページ
7 構成市町の声	10ページ

矢作古川(水系)改修促進に関する要望書

平素は、矢作古川水系の改修促進にご尽力をいただきまして、誠にありがとうございます。また、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算におきまして、本同盟会の重点要望事項であります各事業に対し、格別の御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、令和3年8月豪雨など、全国で水災害による被害が頻発化・激甚化するなかで、治水事業は国土の保全を図り、活力ある地域社会を育むため最優先されるべき根幹事業であります。

本流域におきましても、近年の豪雨による被害が発生しており、平成12年東海豪雨、さらには平成20年8月末豪雨では、広田川流域の幸田町で1時間に116ミリの降雨を記録するなど、広田川流域で未曾有の豪雨となり、幸田町地内で破堤するとともに流域の複数の河川で越水、内水被害などが発生し、床上浸水541戸、床下浸水937戸を含め約410haの甚大な浸水被害を受けました。

この対策としまして、国土交通省において矢作古川分派施設の整備をしていただいたことにより、矢作川からの分流量が抑制され、また愛知県においては床上浸水対策特別緊急事業を行っていただいたことにより、本流域の治水安全度が格段に向上しましたことに大変感謝しております。

しかしながら、本流域には未だ流下能力不足等の整備必要区間が存在しており、流域住民の安全な生活基盤の実現のため、治水事業の強力な推進を引き続きお願いする次第でございます。

一級河川砂川では、令和元年度から大規模特定河川事業により、狭窄部となっている道路橋3橋の改築を進めていただいております、その上流のJR東海道本線交差部においても、隣接する岡崎市都市計画道路の整備と合わせた改修事業着手に向け着実に調整を進めていただいております、大変感謝をしております。引き続き予算等の確保について特段のご配慮をお願いいたします。

一級河川広田川では、大規模特定河川事業等により河道拡幅及び菱池遊水地整備について進めていただいております感謝申し上げます。特に菱池遊水地につきましては、面積が24万㎡、そして貯留容量が65万4千㎡であり、幸田町だけでなく下流域の岡崎市、西尾市といった広域なエリアで治水効果を発揮する事業になりますので、早期完成に向け、引き続き事業推進していただきますようお願いいたします。

また、近い将来にはこの地方において南海トラフ地震の発生が予想されており、流域住民の地震や津波に対する関心が非常に高まっている中、これまでも堤防の耐震対策を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等により大きく進めていただきまして感謝申し上げます。引き続き、一級河川矢作古川の堤防の耐

震対策、津波対策をお願いいたします。

同盟会と致しましても、あらゆる関係者が協働して行う流域治水プロジェクトに基づく対策を推進するため、ハザードマップの周知や水害リスクに対する理解促進などのソフト施策に、引き続き取り組んでまいりますので、流域住民が安心・安全に暮らせるよう、矢作古川水系の改修促進につきましても、今後も特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

併せて、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な・十分な予算を確保するとともに、さらには、5か年加速化対策後も継続的・安定的に予算を確保するようお願い申し上げます。

令和5年7月11日

矢作古川(水系)改修促進期成同盟会

会長 西尾市長 中村 健

矢作古川(水系)改修促進期成同盟会

会 長 西尾市長 中村 健

副 会 長 岡崎市長 中根 康浩

監 事 幸田町長 成瀬 敦

重点要望事項

1 「矢作川水系流域治水プロジェクト」による事前防災・減災対策の促進

(1) 大規模特定河川事業

- ・河川整備 一級河川 砂川（岡崎市）
- ・菱池遊水地整備 一級河川 広田川（幸田町）

(2) 事業推進（交付金等の増額）

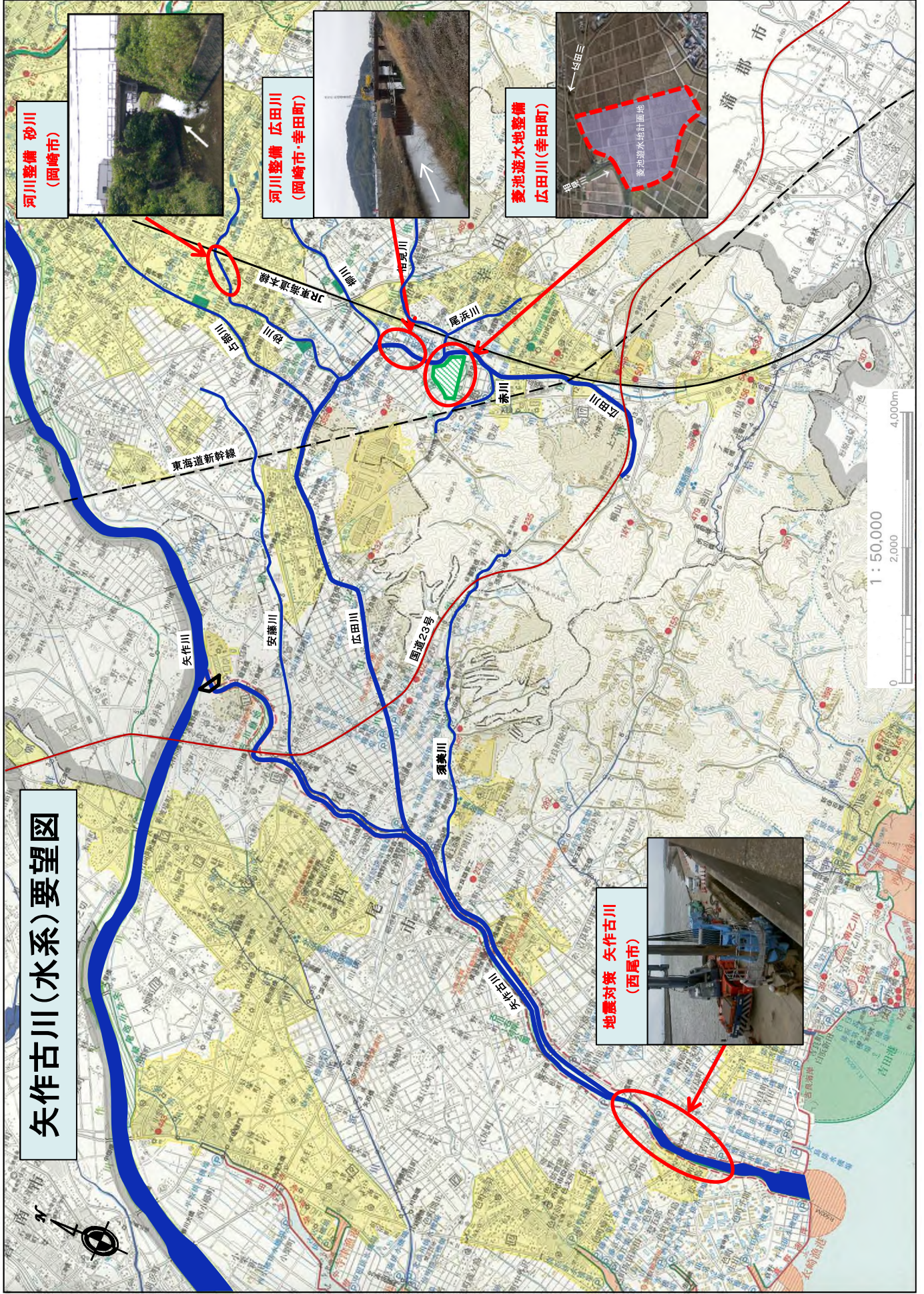
- ・河川整備 一級河川 広田川（岡崎市・幸田町）
- ・地震対策 一級河川 矢作古川（西尾市）

2 治水事業に必要な予算確保

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に掲げる中長期の数値目標の達成に向けて、必要・十分な予算の確保を要望する。

さらには、5か年加速化対策後も継続的・安定的に必要な予算の確保を要望する。

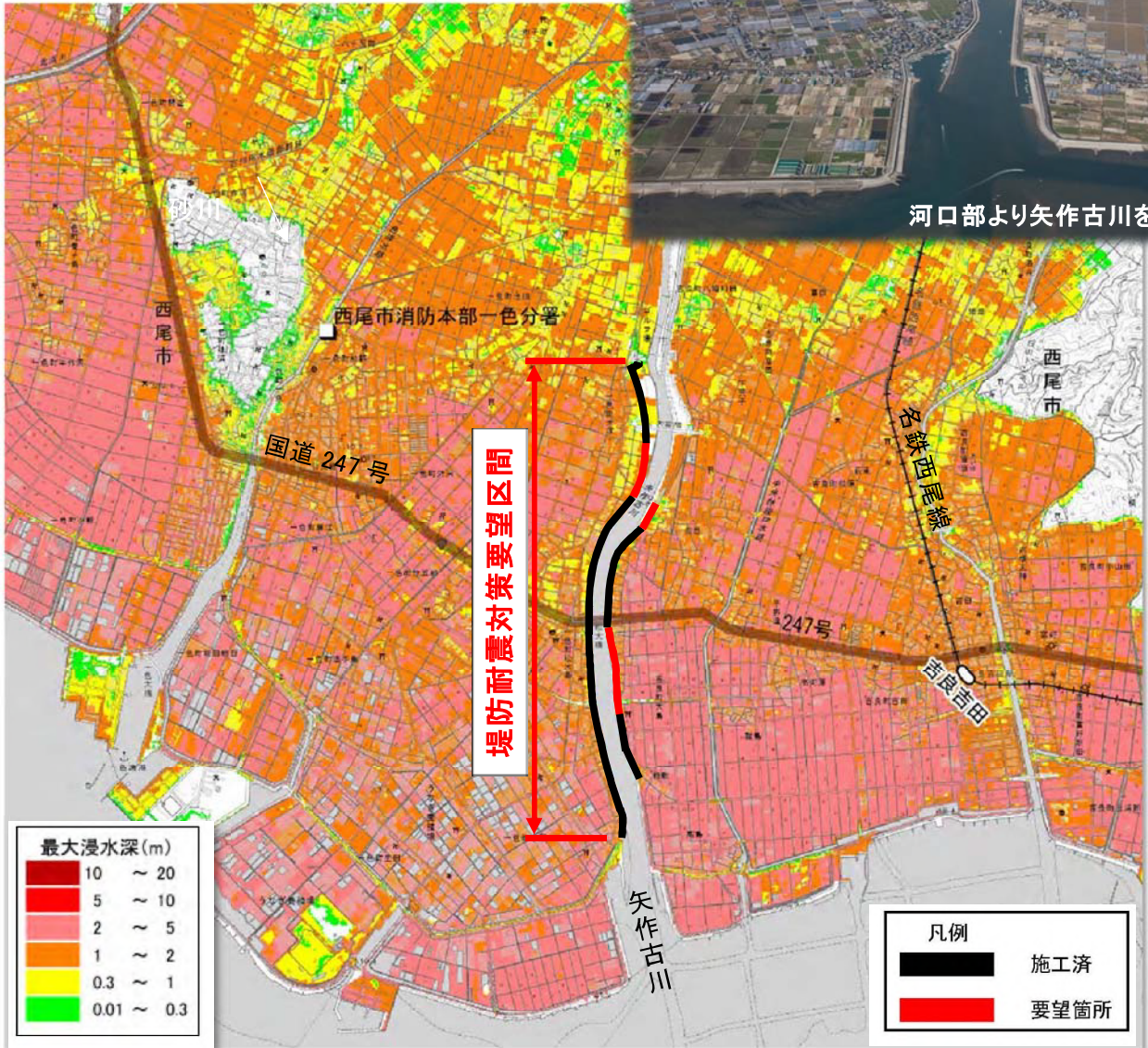
矢作古川(水系)要望図



矢作古川(水系)改修促進要望箇所図

(一級河川 矢作古川)

愛知県津波浸水想定図



矢作古川(水系)改修促進要望箇所図

(大規模特定河川事業 一級河川 砂川・一級河川 広田川)

平成 20 年8月末豪雨 被災状況



凡例	
	施工済
	要望箇所

平成 20 年8月末豪雨 被災状況



河川改修の効果 経済的被害の軽減

◇河川改修事業により、浸水被害の経済波及被害の軽減効果

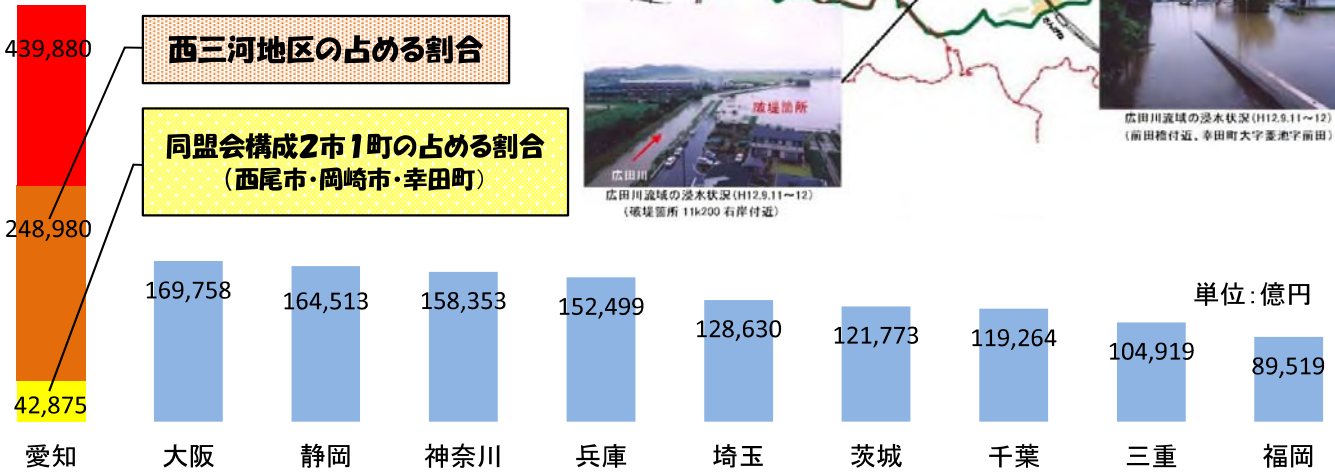
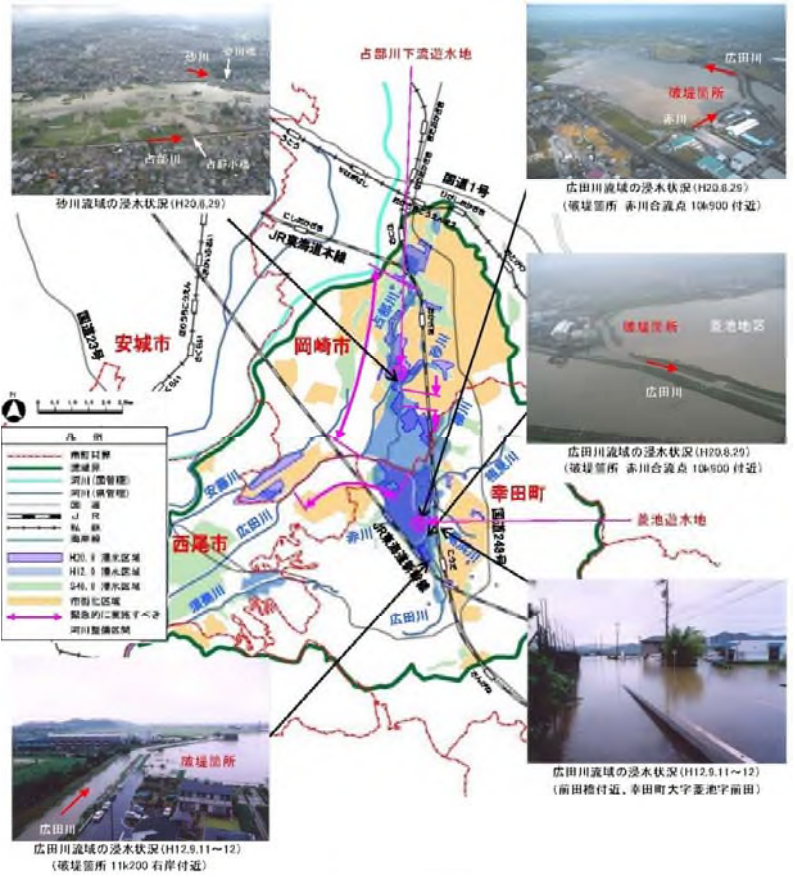


◎平成12年の東海豪雨では、総雨量295mmを記録し、矢作古川(水系)流域では、791.9haが水害の被害を受け、一般資産総額は26億8500万円にのぼった。

◎平成20年8月末豪雨では、総雨量447.5mmを記録し、矢作古川(水系)流域では、409.4haが水害の被害を受け、一般資産総額108億2900万円にのぼった。

主な浸水区域

上位10都道府県
製造品出荷額等



令和3年経済センサス-活動調査 産業別集計

全国1位である愛知県の製造品出荷額等のうち、半数以上を西三河地域が占めている。そのうち、2020年の岡崎市の製造品出荷額等は約1兆8,297億円、西尾市は約1兆5,666億円、幸田町は約8,912億円で、2市1町の合計は約4兆2,875億円であり、愛知県全体の約10%を占めている。東海豪雨発生時には浸水による工場の操業停止のほか、道路の冠水等による交通途絶により多大な経済波及被害が発生したため、河川改修による経済波及被害の軽減効果は非常に高い。

河川改修の効果 浸水リスク低減による進出企業の増加

◇河川改修事業により、**浸水被害の解消**を実現

◇河川改修の進行で、浸水リスクが低減し、**流域内への進出企業が増加**



浸水リスクの低減により平成23年度以降
20社以上の企業が流域内に進出

平成20年8月末豪雨での甚大な
浸水被害を受け、平成21年度より、
床上浸水を解消するため、床上
浸水対策特別緊急事業で重点的、
緊急的に実施し、治水安全度
が向上。

矢作古川水系の流域には世界有数の自動車部品メーカーである(株)デンソー西尾製作所やオートマチックトランスミッション世界トップシェアを誇る(株)アイシンなど多くの自動車部品工場が存在している。

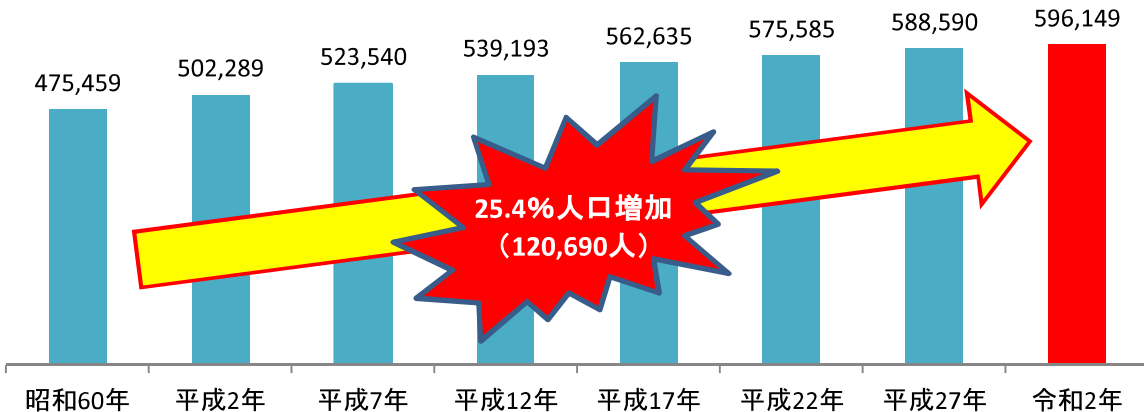


平成23年度以降の流域内に進出した主な企業

No.	企業名	業種	進出年度
①	㈱イノアックコーポレーション	自動車内装品	H27
②	㈱光南	医療機器	H23
	佐久間特殊鋼㈱	特殊鋼材等販売	H26
③	カリツー㈱	自動車部品輸送	H28
	サンエイ㈱	自動車部品輸送	H26
	東伸運輸㈱	自動車部品輸送	H29
	㈱東端運輸	自動車部品輸送	H30
	㈱T&Kテクノ	自動車部品輸送	R1
	碧高分子工業㈱	樹脂製品製造	R2
	㈱水越プラスチック	電動工具等部品製造	R2
④	㈱Na-tech	自動車部品製造	R4
	㈱セキソー	自動車部品製造	R1
⑤	㈱ジェイ・エンジニアリング	自動車部品製造	R1
	アイシン辰栄㈱	自動車部品製造	H27
⑥	大野精工㈱	専用機器製造	H27
	セントラルキャン㈱	各種缶製造	H25
⑦	㈱マシプロ	専用機械製作	H29
	㈱KTL	金属表面処理	H30
	㈱オテックス西尾	自動車部品製造	R3

矢作古川水系の流域は、主要幹線道路として国道23号、国道248号が縦貫し、鉄道網としてはJR東海道本線、名鉄名古屋本線、名鉄西尾線、愛知環状鉄道が縦貫している。人口についても、岡崎市、西尾市、幸田町のいずれの市町においても増加傾向にある。流域南東部には三河湾国定公園が位置しており、風光明媚な地域である。

人口の推移(同盟会2市1町)



昭和60年～令和2年 国勢調査

構成市町の声



広大なゼロメートル地帯を有し、南海トラフ地震想定において、甚大な被害が予測されている本市において、堤防の耐震対策を着実に進めていただき感謝申し上げます。

引き続き一級河川矢作古川の堤防の耐震対策、津波対策を推進していただきますようお願いいたします。

西尾市長 中村 健



平成20年8月末豪雨で甚大な被害を受けました本市において、浸水対策は市民の関心も高いものがあります。

一級河川砂川については、令和元年度から大規模特定河川事業が採択され、浸水対策を着実に進めていただいていることに感謝申し上げますとともに、今後のJR東海道本線交差部の改修の予算についてもご配慮いただきますようお願いいたします。

岡崎市長 中根 康浩



大規模特定河川事業により一級河川広田川において整備される菱池遊水地について、広大な24万㎡もの用地取得を短期間で進めていただいたことに感謝申し上げます。

令和8年度の完成に向けて、引続き、相乗効果が期待される河道拡幅と併せ、事業推進をしていただきますようお願いいたします。

幸田町長 成瀬 敦